

## 沼津高架PIプロジェクト

### 沼津駅周辺地区第1回勉強会

#### 開催概要

去る1月12日（土）、PIプロジェクトでの初めての勉強会が開催されました。鉄道高架事業や沼津駅周辺地区のまちづくりに関心のある団体から23名が参加したほか、傍聴者や報道関係者も多く集まり、活気あふれる会となりました。

今回は初めての開催となるため、冒頭で勉強会の目的やスケジュールがPI運営事務局から説明されました。その後の会の運営は、第三者となるファシリテーターに委任され、3つに分けられたグループ毎に話し合いが始まりました。

話し合いは、勉強会の進め方についての意見交換から始まり、続いて沼津駅周辺地区の地域づくりの目標について議論され、最後に各グループの結果が発表され、およそ3時間に渡る議論が終了しました。

前半の進め方についての議論では、目標に立ち返った議論を歓迎する意見がある一方で、鉄道高架の必要性に短絡してしまう危険性があるとの指摘や、判断が先延ばしされるのではないかとの懸念も寄せられました。この他、客観的データの提供を求める声などがありました。

後半の地域づくりの目標に関する議論では、これまで寄せられた意見をもとに「暮らし」「交流」「産業・雇用」「交通」「防災」の観点からの意見交換が行われました。

「暮らし」については、子育て世代や高齢者などのターゲットを具体的に捉えた目標設定が必要といった意見や、住民にとって魅力ある地域づくりを進めることで定住人口を増やすことが大切といった意見、また、コンパクトな範囲に生活のための施設や緑が充実すべきといった提案や、区画整理区域内の現状に配慮すべきとの意見もありました。

買い物や通勤者、観光客などの来訪者に関する「交流」の議論では、沼津やその周辺の観光資源やキラメッセなどの新たな施設などを活かした具体的な戦略を持ち、県東部地域を視野に入れて交流を盛んにすべきとの指摘や、観光客だけでなく定住者を増やすことにつながるような魅力が必要との意見が出されました。

地域の「産業・雇用」については、車社会に対応した中心市街地の商業のあり方や課題について指摘があった他、物販だけでなく新たな商業を活性化し、沼津の特色づくりをしたいという展望が語られました。

駅周辺地区の「交通」や「防災」については、地震や津波発生時の避難に対する不安や、橋の安全性への不安など、特に災害時の交通課題が懸念されています。

総じて、鉄道高架事業等について考える上で、まずは沼津駅前だけでなくより広い範囲で目標を共有することが大切との指摘や、沼津駅周辺地区のポテンシャルを最大限に活かす視点を持つという提案がありました。

次回（2月2日（土））は、引き続き地域づくりの目標についての議論を行うとともに、広域的なテーマについても意見交換を進める予定です。